

公明党京都市会議員団は、報第1号から20号については認定をし、議第90号から92号については賛成するとの態度を表明しておりますので、会派を代表して討論を行います。

一般会計決算の実質収支については、財政調整基金の残高全額並びに公債償還基金の予算計上額全額を取り崩すなど、大変に厳しい結果となりました。地方交付税などが当初予算に比して大きく減少し、市の努力の及ばない事情によるところもありますが、より正確性を追求した予算算定を行う姿勢がいやまして求められる状況ではないでしょうか。

焼却灰溶融施設の問題や大型汎用コンピューターのオープン化事業の遅延もあり、当初の見通しの甘さやリスク回避のあり方に疑問が残り、不要な支出を余儀なくされる事案も続いています。今一度、予算計上、事業実施ともに事前予測に万全を期し、不要な支出を生まない行政運営を求めます。

このような状況ではありますが、市税等の徴収率は5年連続で過去最高を更新するなど、全庁を挙げて歳出抑制・歳入確保が徹底され京プラン実施計画第2ステージに掲げる施策を着実に推進されたことは評価します。今後、文化庁の全面的移転を受けた「文化力」による地方創生の推進など、本市の成長戦略を大きく後押しする明るい話題もあります。厳しい財政状況の中にも都市の成長・都市格の向上につながる施策に重点投資し、難局を乗り越える市政運営を期待します。

以下、決算について主な施策に対する評価と今後の課題について申し述べます。

急増する民泊については、課題が山積し、万が一、対応を誤れば、これまで京都が守ってきたもの、育てきたものに深刻な影響を与えかねません。違法民泊に対しては、更に毅然とした態度で臨むことはもちろん、地域との調和、市民の安心・安全な暮らしが守られるよう全庁一丸となった取組の強化を求めます。宿泊税については違法民泊に対する課税、税の使用先や透明性が大きな課題といえます。併せて中小零細の簡易宿所をはじめとした宿泊事業者の支援の在り方についてもしっかりと取組を進めてください。

防災施策に関し、避難情報については「市民の命を守るため空振りを恐れない」という視点で早めの情報発信に努めるとともに、避難解除の時期については、安全が確保されたことを前提にしながらもより迅速に見極めることを求めます。また、ライフラインの復旧情報については、市民の安心につながるきめ細かな情報提供をお願いしたいと思います。

保健福祉子育て施策については、平成28年度に大きく取り組みが進んだ、健康長寿のまち・京都の取組、子どもの貧困対策や障害者差別解消などに関し、取り組み状況を点検しつつ、よりよい事業へと改善を重ねていただきたいと思います。

ます。また、子ども若者はぐくみ局の創設を契機として、保育待機児童対策など子育て支援の一層の推進をお願いします。

未来を創るのは人づくりから、教育については、希望すれば誰もがが必要な教育を受けられるように就学前からはじまる教育負担の軽減を国と連携して進めてください。また、教員の資質向上に努めるとともに、真に教師が子どもとしっかり向き合えるよう、十分に議論を重ね、教員の働き方改革にも全力を挙げてください。

まちづくり施策については、「京都市京町家保全及び継承に関する条例」が制定されますが、関係者との連携を図り、京町家の取り壊しの危機を事前に把握し、所有者の負担軽減のための具体的な提案や、活用方法などしっかりとした仕組みの構築を図ることを強く求めます。

公営企業会計について申し述べます。まず、水道事業・公共下水道事業については、ともに黒字決算が続き、経営状況は堅調に推移しています。しかし、節水型社会の定着や人口減少による水需要の急激な減少が予想される一方、老朽化した水道配水管、下水道管路施設の大規模更新を控え、次期経営ビジョンについては、長期にわたり持続可能な経営が実現できるものとなるよう策定を求めます。

次に、自動車運送事業については、一般会計からの任意補助金に頼らない自立した経営を堅持されました。「バスの駅」や、バス接近表示器設置などバス待ち環境も飛躍的に向上しました。今後は喫緊の課題である市バスの混雑緩和対策について他局とも連携し強力に進めていただきたいと思います。

高速鉄道事業については、経営健全化計画に掲げる増客目標を2年前倒しで達成し、2年連続の黒字となりました。しかしながら、依然厳しい経営状況であり、平成30年度までの経営健全化団体脱却に向けたより一層の努力と取組をお願いいたします。

さらに、今後平成31年度までに「地下鉄・市バスお客様一日80万人」との新目標達成に向け取り組むとともに、地下鉄烏丸線全駅への可動式ホーム柵設置など、引き続きお客様第一の安全対策の取組をお願いいたします。

以上、平成28年度決算の評価と課題を述べました。門川市長には全ての市民が笑顔輝く市政運営を推進されることを望み、賛成討論といたします。御清聴ありがとうございました。